



2022. 2. 4. No1417
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>

1. ライフジャケット非着用による違反点数の付与が始まりました！ — 2月1日開始 —

国土交通省は、海中転落による事故死や行方不明者の発生を防止するため、2018年2月1日からライフジャケット（国交省の安全基準を満たした“桜マーク”入り）の着用を、20トン未満の小型船舶の船室外において、原則全ての乗船者に義務付けています。

2022年2月1日以降は、乗船者にライフジャケットを着用させなかった船長（小型船舶操縦者）には違反点数2点が課され、「再教育講習」を受講しなければなりません。

ライフジャケットの非着用以外にも、酒酔い等操縦、自己操縦義務違反、危険操縦、見張りの実施義務違反等でも違反点数が課され、違反点数が累積5点以上になった場合、最大で6か月間の免許停止処分となります。

水難事故は命に関わる重大な事故につながる可能性が高いことから、国交省や水産庁はじめ各関係団体は、これまでもライフジャケットの着用を呼び掛けてきましたが、漁船の海中転落事故時におけるライフジャケットの着用率は約5割程度に留まっているのが現状です。

海上保安庁によれば2020年漁船からの海中転落者の生存率は着用時の73%に対し、非着用時は36%となっており、着用の場合は海中転落時の生存率が約2倍に高まります。

船舶職員や小型船舶操縦者は、身の安全を守るためにも着用を習慣づけるとともに着用前の点検も徹底してください。

2. セーフティーネット構築事業 第3四半期（燃油）補填発動 — 4期連続発動！ —

令和3年度セーフティーネット構築事業の第3四半期（10～12月）補填判定結果が、養殖用配合飼料で1月18日に、漁業用燃油で1月21日にそれぞれ（一社）漁業経営安定化推進協会から公表されました。

漁業用燃油では第3四半期の平均原油価格が56,030.0円/klとなり、直近の7中5平均原油価格39,124.8円/klを上回りましたが、急騰対策補填の発動要件（①7中5平均原油価格×85%=33,256.1円/kl、及び、②前年同期の平均原油価格×120%=35,180.0円/kl）も超過したため、優先的に急騰対策補填単価20,030円/klでの補填発動が確定し、4期連続で補填が発動することとなりました。

養殖用配合飼料については、第3四半期の平均配合飼料価格が175,646.0円/トとなり、直近の7中5平均配合飼料価格186,306.4円を下回ったため、今回も補填発動はありませんでした。

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

3. 第61回通常総会・2022年度研修会を開催 — 県漁協青壮年部連合会 —

静岡県漁協青壮年部連合会（岩瀬清敏会長）は、1月21日に静岡市（静岡駅ビル パルシェ7階会議室）において第61回通常総会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の対策のため、参加人数を最小限にした結果、青壮年部部長等16名が出席して行われました。

総会では、岩瀬会長挨拶の後、来賓の県水産・海洋局水産振興課の萩原課長並びに、県漁連の鈴木専務から挨拶が述べられ、引き続き内浦漁協青壮年部の小林大介氏を議長に選任し、2021年度事業報告、2022年度事業計画、2022年度会費の徴収時期、徴収方法について審議され、提出された議案は全て原案どおり可決承認されました。

また、任期満了に伴う役員を選任が行われ、新会長には小林大介氏（内浦漁協青壮年部）が選任されました。

総会終了後に開催された2022年度県漁協青壮年部研修会では、県水産・海洋技術研究所伊豆分場主任の鈴木勇己氏が「水産物の新たな流通体制構築に向けた取り組み」と題し講演を行いました。

4. 第56回静岡県海の子の作品展入賞者決定 — 252点の応募がありました —

東日本信用漁業協同組合連合会静岡支店並びに本会は、漁村の次代を担う海の子を対象に、「豊かな海」と「漁業」について理解を深め、漁業に夢を持った子供たちを育てることを目的として、毎年「静岡県海の子の作品展」と題した絵画コンクールを開催しています。

第56回となる本年度の作品展には県内の17小学校と6中学校から252点の作品の応募があり、昨年11月15日に審査会が開催され、審査員3名による審査の結果、小学校の部で焼津市立小川小学校4年の瀧井直輝さん、中学校の部で焼津市立大富中学校3年の白鳥りおんさんの作品が最高賞に当たる静岡県知事賞に選ばれたのをはじめ、各賞の受賞者が決まりました。

なお、審査会で入賞した20点の作品については、本会ホームページ上に掲載していますので是非一度ご覧になってみてください。

5. 桜えび秋漁の水揚げ結果 — 水揚げ数量は昨年より増加も水揚げ金額は減少 —

静岡県桜えび漁業組合（實石正則組合長）では、10月28日から始まった秋漁を、12月23日をもって終漁しました。

今秋漁では水揚げ数量141トン、水揚げ金額450,061千円となり、昨年の秋漁に比べ水揚げ数量で約39トン増加したものの、漁期を通じて単価が安く、水揚げ金額は52,310千円減少する結果となりました。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう